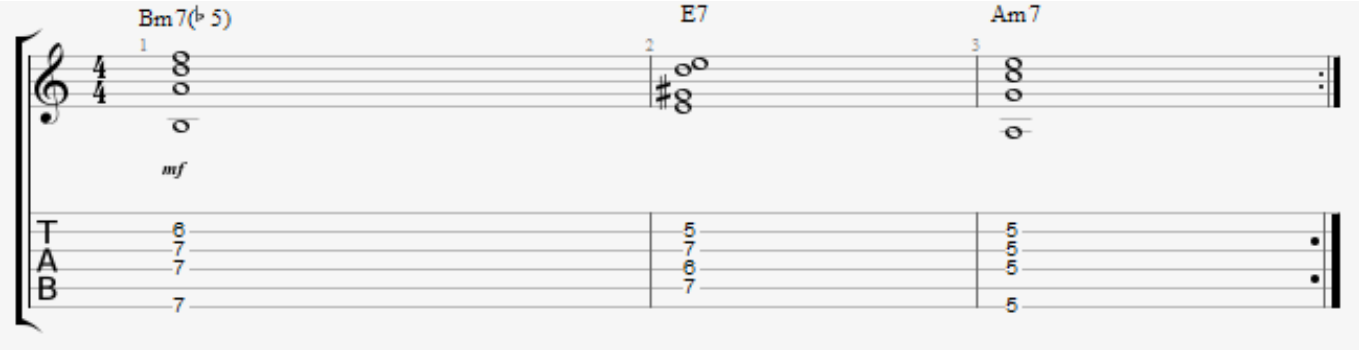
# Vol.82　ディミニッシュド・アルペジオを使ってみる

では、『10 分トレ』vol.82、始めていきましょう。

今回は、10 分トレの vol.58、59 で基礎ポジションを学んだ、「ディミニッシュド・アルペジオ」の実践フレーズを弾いて行きたいと思います。(※別途配布している【教科書】の vol.58～でも詳しく解説しています)

バックのコード進行は、前回と同じく key=Am のツー・ファイブに設定し、この内、E7 の部分で、G♯ディミニッシュド・アルペジオを使います。

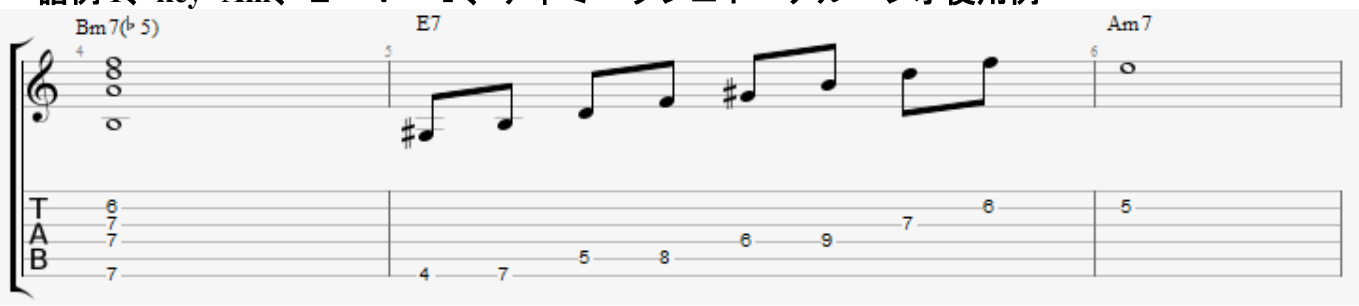
弾き方もシンプルに、E7 の部分以外はコードを鳴らすだけにしてみましょう。




(※G♯ディミニッシュド・アルペジオ＝B or D or F ディミニッシュド・アルペジオとなります。なぜ、このスケールが出てくるのか？については、教科書 vol.58～を参考にしてください)

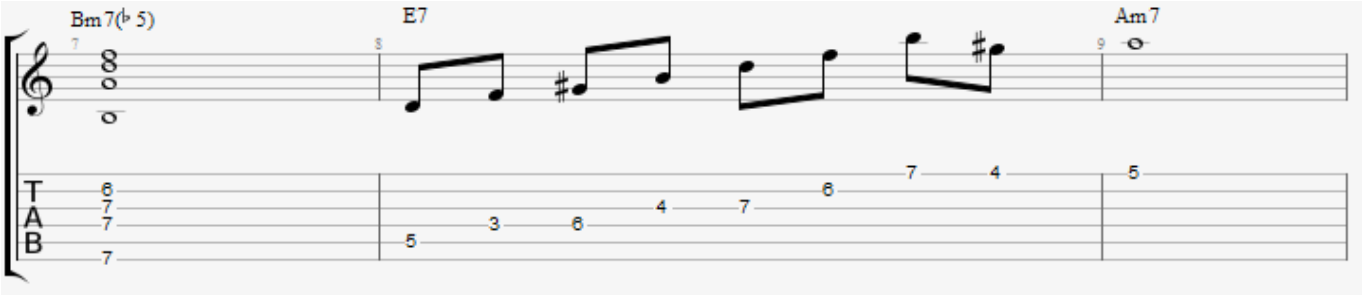
では、譜例は以下になります。

**譜例 1、key=Am、Ⅱ－Ⅴ－Ⅰ、ディミニッシュド・アルペジオ使用例**

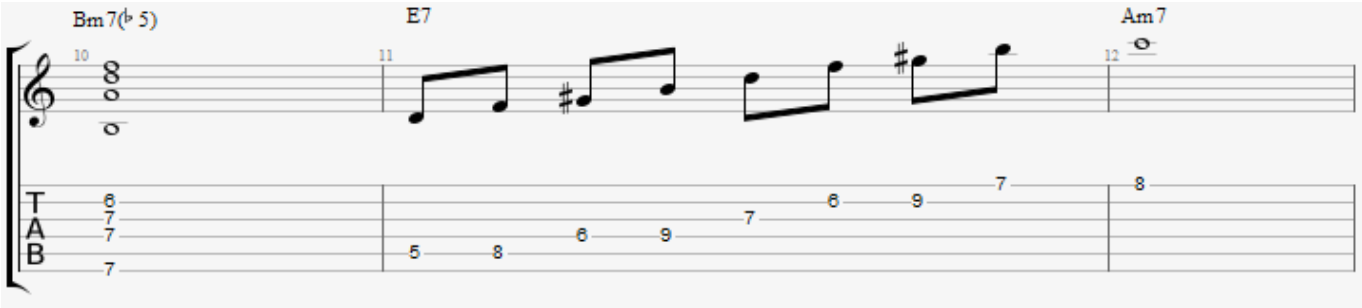



**譜例 2**

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved




**譜例 3**




譜例自体はかなりシンプルなものにしてあります。

自分でアドリブフレーズ等を作る時に重要なポイントは、解決先の音に向かう様に音の流れを作る事ですね。

ここでは Bm7( ♭5)でフレーズを弾いていませんが、そちらからディミニッシュに繋ぐときも、出来るだけ音が接する様にしてみましょう。

後、6 弦にトニックを見たポジションだけでなく、5 弦にトニックを見たポジションでも練習してみて下さい。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved 